

# 平成28年度 放送番組審議会 議事録

## (株式会社ジェイコム九州 熊本局)

日 時：平成29年3月24日（金） 14：00～16：00

場 所：株式会社ジェイコム九州 熊本局 会議室

### 出席者

委 員：宮園 博光氏（会長）、吉永 健司氏、劔羽 逸朗氏、田原 誠也氏、  
大田 祐助氏、甲斐 広文氏

事務局：株式会社ジェイコム九州 熊本局

代表取締役社長 徳田 瑞穂、取締役熊本局長 前田 貴敏、  
地域プロデューサー 河村 文治、管理部長 中嶋弘人、管理部 小菌 紫  
西日本メディアセンター  
センター長 仲川 圭、アシスタントマネジャー 本田 憲生、  
牧 幸生、中村 文香

### ●司会進行 宮園会長

#### 1、徳田社長挨拶

ジェイコム九州は、昨年4月1日付で福岡・北九州と熊本がひとつになり、  
新生ジェイコム九州が誕生した。今回は新生ジェイコム九州として初めての番組審議  
会である。昨年の熊本では熊本地震が起り、コミュニティチャンネルとしても大き  
な転換期を迎えている。この1年取り組んだことを審議するにあたって忌憚のない意  
見を頂きたい。

#### 2、宮園会長挨拶

始めに委員の自己紹介をお願いしたい。今回、3名の委員が交代された。

新任：田原委員、大田委員、甲斐委員

本日は、委員6人中6名が出席。放送番組審議会規定第4条に基づき、当会は成立。

#### 3、会長、副会長選出

宮園会長）今回3名の委員が新任されたため、放送番組審議会第3条3項に基づき、  
会長・副会長を新たに選任したい。

劔羽委員）会長を宮園委員、副会長を甲斐委員に推薦したい。

委員一同) 異議なし。

宮園会長) 会長を宮園、副会長を甲斐委員に選任する。

#### 4、議題 1

自主番組制作について

##### ①コミュニティチャンネル概要

##### ②レギュラー番組について

各番組のダイジェストを放送し、説明。

デイリーニュース・デイリーニュース中体連スペシャル

新番組：わくわく1年生・熊本人図鑑

##### ③特別番組について

各番組のダイジェストを放送し、説明。

・藤崎八幡宮例大祭 2016 生中継

・バドミントン S/J リーグ熊本大会生中継

・ストリートダンスバトル九州地区予選大会

・新春年頭挨拶

・成人式特集

・熊本城マラソン 2017 生中継

《下記番組は説明のみ》

・ホークス宮崎キャンプ

・ホークス TODAY、ガンガンホークス CHECK! GO!

・年越し生放送スペシャル (J:COM テレビ)

#### 5、議題 2

平成 28 年熊本地震 コミュニティチャンネルの対応について

VTR を上映、熊本地震の際の対応方法や、復旧支援について説明。

#### 6、議題 1・2 の質疑応答

委員) ドローンでの熊本城撮影は、貴重な映像でよいと思う。

委員) ジェイコム社員自身も被災しているのに、精力的に情報を流してもらい地域住民は、感謝している。復興に向けたいろんなテーマがあるので抽出して取り上げて頂ければありがたい。

委員) 特別番組に関して、「火の国まつり」の放送はあったのか？

事務局) 地域イベント系番組の「なっせタイム」で放送した。  
FODにもアップしている。FODはアップしたままになりがちなので、適宜お知らせしていく必要がある。来年度、「火の国まつり」は特別番組でも取り扱うことを検討している。

委員) 熊本地震に関する取り組みは、メディアで紹介されると注目される。  
今後も取り上げて頂くとありがたい。

事務局) 熊本地震から1年が経ち、4月14日・15日に特別番組をする。

## 7、議事3

自主番組審議「甦れ！熊本城～熊本復興の象徴として～」

～以下、質疑応答～

委員) 熊本城は今も続けて取材しているのか？

事務局) 4月からの市政番組で熊本城の復旧過程を踏まえたものを取り上げていく。

委員) 熊本城の復興か？それとも熊本全体の復興を取り上げるのか？

事務局) 熊本城の復興を追いかける。

2019年には、熊本城の天守閣が復旧予定。そこまでは追いかけてみたい。

委員) コミュニティチャンネルで放送された、「阿蘇のあか牛（けーぶるにつぼん）」が非常に良かった。あか牛は全国的に見ると、まだマイナーである。このようなものを取り上げる番組をこれからも続けてほしい。

事務局) 「阿蘇のあか牛」は、日本ケーブルテレビ連盟と連携して制作した。

これからも、物事を多角的に見て切り取ったものを放送していきたい。

委員) 今後、熊本城を追いかけていくのであれば、地域の櫓（やぐら）、地域で守っている文化財も着眼点に持った方がよい。熊本城同等の価値がそこにはある。地域のことを取り入れた方がよい。

委員) 熊本の復興について、これから考えていく番組を検討していくのもよいのではないか。

事務局) 専門家や地域住民を入れた座談会もあるとよいと思う。

委員) 皆が熊本のために何かしたいという想いは継続していきたい。2019年はラグビー大会もあるので、そのときまでに何ができるのかという話もしている。

試合は、放映権があるが地域の盛り上げりをコミュニティチャンネルでも取り上げていくといいのではないか。

事務局) ジェイコムグループに「J SPORTS」がある。ラグビー大会に関して、関係者の動向は J SPORTS とセットにして、コミュニティチャンネルで取り上げることが可能。

委員) 熊本地震の際に、コミュニティチャンネルの番組情報が避難所に届いておらず、知らなかった。民放とは違って地域密着の放送を担うべき。尚且つ、避難しても視聴できるようにすると親密度が増すのではないか。

事務局) 避難所への対応は 11 か所で行った。コミュニティチャンネルを視聴できるようにし、幹線を引くことができない場所には VTR を流すようにした。しかし、視聴されていなかったら意味がないので関係各所へのアプローチが今後の課題。住民 1 人 1 人から情報をもらえるようになりたい。日頃からの関係性や取組みが必要である。また、地域住民から発信されるニュースには、嘘がある場合もあるので見極めが必要である。

委員) 公式 SNS は、正しい情報として扱うことができる。

委員) 中体連は毎年楽しみにしている。

子供がいる・いないに関わらず楽しみにしている。

高校総体は特集しないのか? 中体連を見ている人はその流れで高校総体も見る。

事務局) 高校総体だと熊本県域での開催もあるので、エリア外での取材になってしまう。

委員) エリア内の人がエリア外で試合するものを取り上げても見るのではないか? エリア外の試合で、遠くて応援にいけなかった人たちが視聴すると思う。

事務局) ニーズとしては高いと思う。善処する。

委員) 「甦れ! 熊本城」を視聴して、間延びしている部分があった。番組の見せ方が必要だと思った。益城町の復興はまだ時間がかかる。益城町の現状を伝える番組が必要であり、ジェイコムだからできる番組があるのではと思う。

事務局) 善処する。

## 8、議事 4

平成 29 年度 自主制作番組方針説明

①デイリーニュース放送時間の変更

- ②地域イベント・地域スポーツの拡大
- ③「熊本人図鑑」時間尺の変更、MC 変更
- ④「わくわく1年生」の放送再開時期について

～以下、質疑応答～

委員) わくわく1年生はこれからも続けてほしい。将来、有名人になる人もいるはず。

事務局) 学校の卒業式や成人式にも使えるので続けていきたい。

委員) わくわく1年生は名札をつけて撮影している人がいるが大丈夫か？

現在、学校では誘拐等のリスクもあるので名札を外して登下校している。

事務局) 名札のあり・なしはそれぞれの地区の教育委員会の方針に従っている。

委員) 名札をつけることを逆手に取られないよう、注意された方がよい。

委員) 他業者の例を挙げると、部活動を掲載している雑誌では雑誌に載せることができなかった人をブログに掲載することでフォローしている。今後、取材の中で溢れて放送できなかった人やものを、コミュニティチャンネルらしいものでフォローするといいいのではないか。

事務局) メディア MIX にも繋がることなので検討する。

## 9、その他

リオデジャネイロオリンピックへの取り組み (J:COM テレビ) について

## 10、前田局長挨拶

新しい体制になった直後に、熊本地震が起きた。局もメディアセンターも震災の対応を行い、全国のグループからもバックアップしてもらった。震災対応で、周りからは感謝の言葉を頂いたが、もっとやるべきことがあったと反省している。

日頃からの関係づくりにおいて、今までより以上、そしてより幅広いイベントや地域情報を取り上げていきたい。そのためにもさまざまな繋がりを持ち、いま以上、より幅広い情報を頂きたい。ぜひジェイコムを使って頂きたい。

## 11、閉会

以上